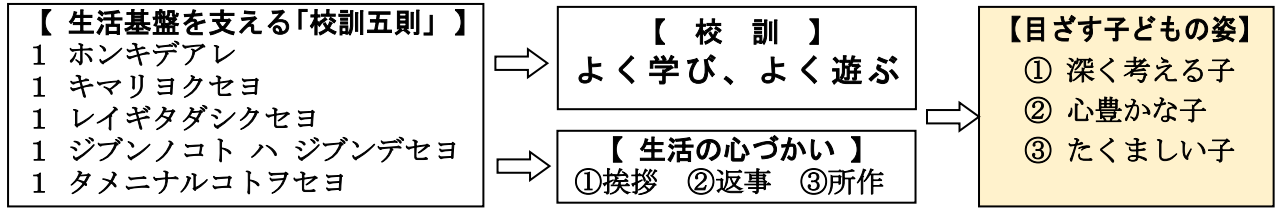


## 1 本校の教育目標



## 2 経営方針「子どもを大切にできる学校づくり」

子ども一人一人の人格や個性を認め、子どもの思いに寄り添い、子どものもっている力を最大限伸ばしていく教育を実践していく。また、子どもが育つ環境づくりのために、保護者・地域と協力するとともに、職員の合い言葉を「足を運び、かかわりを広げ、組織で前進する『チーム牟呂小』」とし、信頼される教職員集団が育つ学校経営をすすめていく。

- (1) 問題解決的な学習による「確かな学力」の育成
- (2) 思いやりをもって友達とかかわることのできる「豊かな心」の育成
- (3) 体力の育成と不登校の未然防止・早期対応に重点を置いた「たくましさ」の育成
- (4) 命を大切にできる心と危機回避能力の育成
- (5) 信頼される教職員集団の育成

## 3 本年度の重点努力目標

- (1) 問題解決的な学習による「確かな学力」の育成（キャリア教育）
  - ① 「わかる・できる」授業のために視覚支援を中心に工夫をし、「基礎・基本」の定着を図る。
  - ② 「体験」を通して学ぶ問題解決的な学習を展開し、自ら考え判断する場を意図的に設定する。
- (2) 思いやりをもって友達とかかわることのできる「豊かな心」の育成
  - ① 挨拶を生活の基礎基本と考え、心のこもった挨拶ができるように働きかける。
  - ② 人との関係づくりや思いやりの心を育むために、音楽発表会をはじめとした行事を道徳と関連付け、行事を通して「子どもが考え、成長できる」ように働きかける。
- (3) 体力の育成と不登校の未然防止・早期対応に重点を置いた「たくましさ」の育成
  - ① 体育、外遊び、部活動等の活動を充実させ、子どもの「運動したい」という意欲を育てることに重点を置いて計画を立て、体力向上を図る。
  - ② 生活サポート委員会を充実させ、不登校や学校不適応等の早期対応のため、子どもたちの状況とその対応策を共有するとともに、必要に応じてケース会議を開き、保護者や関係機関と連携して対応をすすめる。
  - ③ 不登校や学校不適応等の未然防止・早期対応のために、生活アンケートや面接活動を充実させていく。
- (4) 命を大切にできる心と危機回避能力の育成
  - ① 実際場面を想定した校区防災合同訓練の実施と危機管理マニュアルの見直しを行う。
  - ② 子どもの表情やしぐさに気を配り、いじめの起きにくい温かい集団をつくる。
- (5) 信頼される教職員集団の育成
  - ① 授業研究や教材の工夫を通して全員が授業研を行い、授業力の向上を図る。
  - ② OJTを機能させ、学級経営力や発達障害の理解について、年配職員から若手職員への伝承、若手同士での学び合いを活性化させることで、力量向上を図る。
  - ③ 管理職からの積極的な声かけにより、風通しのよい人間関係づくりを行い、些細なことでも報告・連絡・相談が図れるようにする。
  - ④ 不祥事は絶対に起こさないように繰り返し研修やチェックを行うとともに、お互いに声かけをすることで、教職員としての自覚を高めていく。
  - ⑤ H P や各種通信を通して学校の様子について積極的な情報提供に努め、地域との連携を深める。